

熊本大学国際化推進センターニュース

The News Letter of the Center for Globalization, Kumamoto University

第10回 日本・ブラジルのエネルギー・環境・持続的発展に関する国際ワークショップを開催しました。

平成24年11月14日、熊本大学工学部百周年記念館において、熊本大学、岐阜大学及びカンピーナス大学(ブラジル)の主催で、「第10回 日本・ブラジルのエネルギー・環境・持続的発展に関する国際ワークショップ」が開催されました。

本ワークショップは、日本及びブラジルの環境問題意識の高まりから、平成15年にカンピーナス大学(ブラジル)で第1回が開催されたことに始まり、その後、主にカンピーナス大学と岐阜大学を中心に、両国で交互に開催されてきたものです。

カンピーナス大学と熊本大学工学部及び大学院自然科学研究科が部局間



オープニングスピーチを行う谷口学長

交流協定を結んでおり、第10回となる今回は、熊本大学において開催されました。

このワークショップは、日本及びブラジルの研究者が、エネルギー、バイオマス、環境、農業等の分野を中心に発表・議論を行うことによって連携を深め、両国の発展に寄与することを目的としており、ブラジルから6名、日本から5名の研究者が英語で講演を行い、活発な議論が交わされました。会場には、留学生を含む大学院生、研究者を中心に学内外から約140人の参加者が集まりました。また、ワークショップの様子はテレビ会議システムを通じて岐阜大学に配信され、大学院生26人が授業の一環として参加しました。



講演者及び関係者の記念写真



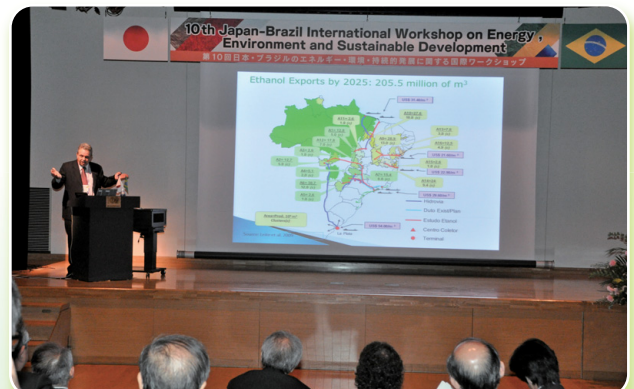
活発な議論を行う参加者。ワークショップの様子は、テレビ会議システム(右端)を利用して、岐阜大学にも配信された。

入やその問題点を考える上で大変参考になりました。優れた科学技術を持つ日本と豊富な天然資源を有するブラジルの二国間の協力関係の発展は、双方に利益と成果をもたらすものと期待しています。」と感想を述べました。

本ワークショップは、年1回、日本とブラジルで交互に開催され、来年はブラジルで開催される予定です。

研究発表を行ったカンピーナス大学の Luis Cortez 教授は、「今回のワークショップを通じて、熊本大学をはじめ日本の研究者と有意義な議論や情報交換ができた。ブラジルはエネルギー、環境分野はもちろん、経済・文化など多様な面において、日本を大変重要視している。また、経済発展著しいブラジルにおいて、今はいろいろなことにチャレンジするのに良い時期であるため、ぜひ多くの日本の若者がブラジルを訪れて欲しい。」と話しました。

また、参加者の一人、熊本大学大学院自然科学研究科の外国人客員研究員、Morel Jorge氏は、「今回、出身地のパラグアイと同じ南米地域の大学研究者の発表があり、自分の研究テーマとも関係が深かったので興味を持って参加しました。パラグアイは水力発電が中心ですが、様々な再生可能エネルギーの導



講演を行う Luis Cortez 教授
(ブラジル・カンピーナス大学)

平成24年度 熊本大学留学生交流パーティーを開催

平成24年12月12日、本学工学部百周年記念館において、留学生交流パーティーを開催しました。熊本大学では、異なる生活環境の中で勉学・研究に励んでいる留学生を励ますと共に、指導教員、チューター及び日頃からお世話になっている学外関係者を招待し、相互の交流と親睦を深める目的で、本交流パーティーを毎年実施しています。

当日は原田国際化推進センター長による開会の挨拶、韓国留学生会会長による挨拶に引き続き、国際化推進センター国際交流支援部門長・陳教授による乾杯の発声が行われ、参加した本学留学生、指導教員、チューター及び学外関係者が交流を楽しみました。

また、留学生パフォーマンスとして7組の留学生グループによる伝統的な音楽の演奏や歌、ダンス等が披露されました。パフォーマンス終了後は学外関係者による厳正な審査が行われ、最も点数の高かったパフォーマーに谷口学長から留学生パフォーマンス大賞が贈られました。その他、熊本大学国際交流支援者会(ボギーズ)による抽選会も行われ、会場は約350人の参加者で大いに賑わいました。



谷口学長と参加した留学生

平成24年度海外留学成果発表会を開催

平成24年11月7日、本学くすのき会館にて平成24年度海外留学成果発表会を開催しました。

本発表会は2部構成で、第1部は本学と学生交流協定を締結している海外の大学へ交換留学生として派遣された学生が、渡航先の言語で発表を行いました。続いて、第2部は夏期あるいは春期に本学が主催している2週間から1ヶ月の海外語学セミナーに参加した学生による体験報告が行われました。

発表に先立ち、谷口学長から、今回の留学経験を活かして今後グローバルな人材として世界で活躍することを期待します、と激励がありました。

発表者からは写真やエピソードを交えつつ、留学中の体験、留学先大学の紹介、留学をとおして得られた成果等について報告が行われました。会場には、留学に興味のある学生や今後、留学を希望する学生など約40名の参加があり、留学経験者の発表が参加者にとって大いに参考になった、刺激になったとの声が聞かれました。



派遣学生の英語による発表

※別ページに、留学体験記を掲載しています。

谷口学長がホーチミン工科大学創立55周年記念式典に出席

平成24年10月27日に本学の大学間交流協定校であるベトナム・ホーチミン工科大学の創立55周年記念式典が開催され、本学から谷口学長が出席しました。

ベトナム政府及びホーチミン市政府関係者、高等教育機関、卒業生及び在校生、日系企業を含む企業関係者等およそ1,000人が見守る中、同大学アリーナにおいて盛大に式典が挙行され、その後、会場を学外に移して記念祝賀会が開催されました。

同大学Vu Dinh Thanh学長と谷口学長の懇談では、両大学の今後の教育・研究交流の発展について意見を交わし、引き続き友好関係を深めていくことに合意しました。



谷口学長(左)とThanh学長(中央)

谷口学長、韓国・KAIST主催の「第5回国際学長フォーラム」に出席

本学と大学間交流協定を締結している KAIST(韓国科学技術院)主催の「第5回世界的研究大学国際学長フォーラム(the 5th International Presidential Forum on Global Research Universities)」が平成24年10月16日、「Effective Education and Innovative Learning」をテーマに、韓国・ソウルで開催されました。

本フォーラムには、27カ国から51機関の学長・副学長等が参加し、講演及び活発な意見交換が行われました。

本学から谷口学長が出席し、「Activities of Kumamoto University (KU) for Effective Education and Innovative Learning」というテーマで講演を行いました。



フォーラム会場の様子。
27カ国51機関から学長・副学長等が参加。



KAISTのNam Pyo Suh学長(中央)及び学長夫人(右端)と記念撮影する谷口学長

モンタナ大学副学長が谷口学長、原田副学長を表敬訪問

平成24年10月5日、本学の協定校であるモンタナ大学(アメリカ)の Teresa Branch副学長以下3名の訪問団が本学谷口学長、原田副学長を表敬訪問しました。

モンタナ州と熊本県が2012年姉妹提携30周年を迎えたことによる記念イベントに参加するために熊本を訪問したもので、それに併せて今回、熊本大学を訪問したものです。

モンタナ大学と本学は1987年に協定を締結して以来20年以上にわたり教員及び学生の交流を継続して行っています。

懇談では、谷口学長と Branch副学長が新たな学生交流の可能性等について意見を交換し、表敬は和やかに終了しました。

懇談に先立って、一行は、モンタナ大学から本学に留学している学生と懇談を行いました。

また、五高記念館を見学し、熊本大学の歴史と恵まれた教育研究環境に大変興味を持たれた様子でした。



Teresa Branch 副学長(中央)

留学生と保健学系学生との交流

平成24年11月5日に保健学系国際化推進委員会の主催で、「留学生と保健学系学生との交流会」(第2回)が九品寺キャンパスで行われました。本交流会は外国人とのコミュニケーションを通し、英会話力向上のきっかけをつくることを目的に開催され、全学に在籍している、中国、韓国、インドネシア、アメリカ、イギリス、ドイツ、オーストラリア、グアテマラからの留学生11人を含め、医学部保健学科および大学院保健学教育部の学生・教職員合わせて64人が参加しました。最初に留学生の自己紹介があり、その後、グループ毎に、自分の国の「季節の行事」や「医療制度」など、幅広いテーマを設けて、お互いに話し合い、発表するという形式で交流を深めました。



国家公派留学生獲得のための中国重点大学訪問 —上海オフィス便り②—

中国国家留学基金委員会(China Scholarship Council)が行っている「国家建設高水平大学公派研究生項目」による公派留学生の獲得を主な目的として、平成24年10月17日から11月9日にかけて、国際化推進センターの陳強教授が中国国内6地域20校の重点大学を訪問しました。

中国の大学との交流促進及び留学生獲得の拠点である本学上海オフィスでは、今回の訪問にあたり、訪問先大学の国際交流担当部署との日程調整や訪問先同行(北京大学、北京工業大学、南開大学、天津大学、復旦大学、同済大学、上海大学及び南京理工大学)などを行いました。

訪問先において、陳教授及び上海オフィススタッフは、本学の受入政策や戦略を国際交流担当者及び関係者に説明し、さらに、留学希望者を対象とした募集説明会では、本学及び熊本の紹介、奨学金や留学生活等についての説明後、質疑応答を行いました。担当者や学生との交流を通じて、中国における本学のプレゼンスを向上するという目的を達成できたと感じました。



同済大学にて本学の説明をする陳教授

平成24年度 「教育の国際化推進のためのF D研修」を実施

平成25年1月8日から10日までの3日間、本学において、英語による教授力・コミュニケーション力の向上を目的とした「教育の国際化推進のためのF D研修」を実施しました。

平成22、23年度は、カナダ・アルバータ大学(本学の交流協定校)やアメリカ・カリフォルニア州立大学フラトン校へ本学教員を派遣して2週間の研修を実施しましたが、4回目となる今回は、カナダ・アルバータ大学より講師を招聘して本研修を行い、教員9名が参加しました。

参加者は英語による教授法の講義や英語スキル向上のための演習等を通し、様々な内容を学び、最終日には各人が5分間程の模擬授業を行い、研修で得た成果を講師や他の参加者に披露しました。参加者からは「有意義な研修だった。研修で学んだ教授法は、英語での授業のみならず、日本語での授業にも活かすことができると感じた」という感想が寄せられました。

今後は、本研修参加者が中核となって国際教育プログラムの充実に向けた活動を推進し、学部・大学院等の教育面において国際的な大学づくりが進むことが期待されます。



研修の様子



閉講式

熊本大学インドネシアITSオフィスとの連携により、 多彩な交流活動を実施

Kumamoto University Global Academic Excellence Seminar 開催

平成24年9月28日にインドネシア スラバヤ工科大学(ITS)において「Kumamoto University Global Academic Excellence Seminar」を開催しました。本セミナーは海外の交流協定校で本学の研究紹介と留学生募集のセミナーを合わせて行うことにより、研究交流の活発化と留学生の効果的な獲得を目的とし、昨年度から実施しているもので、今回で4校目の開催となりました。

本セミナーにおいては、本学の概要や特色ある研究等の紹介が行われ、参加した ITSの学生約150名は講演に熱心に聞き入っていました。講演後には参加者から積極的な質問が寄せられ、本セミナー及び本学への関心が高いことがうかがえ、インドネシアからのさらなる留学生増加に向けて確かな手応えを得ることが出来ました。



福村国際戦略ユニット長の説明に熱心に聞き入るITSの学生

スラバヤ工科大学国際室長が原田副学長を表敬訪問



原田副学長(右から2人目)を表敬訪問するDr. Maria Anityasari(左から2人目)

平成24年10月16日、ITSの Dr. Maria Anityasari国際室長が本学原田副学長を表敬訪問しました。

本学との交流をさらに活発にするため、ITSについての講演等を行うために訪問したものです。

懇談では、原田副学長と新たな学生交流の可能性等について意見を交換し、表敬は和やかに終了しました。

懇談に先立って、ITSから本学に留学している学生13人と懇談を行いました。

COMMUNITY AND TECHNOLOGICAL(CommTECH) CAMP-Highlight 2012に参加



プログラム参加者

平成24年11月26日から12月4日まで「COMMUNITY AND TECHNOLOGICAL (CommTECH) CAMP-Highlight 2012」がITSで実施さ

れ、本学から自然科学研究科の学生2名と国際戦略ユニットのスタッフ1名が参加しました。このプログラムは、インドネシアの様々な文化や技術を実際の体験を通して学習することを目的として計画されたものです。17カ国から32名の参加者が9日間のプログラムを体験し、最終日に行われた発表会では、インドネシアの発展等について参加者とITSの学生が積極的な議論を交わしました。

オーストラリア・ニューカッスル大学が来学

平成24年11月26日、本学の協定校であるオーストラリア・ニューカッスル大学から英語及び基礎教育課程センター長の Seamus Fagan 准教授が本学を訪問されました。

本学とニューカッスル大学は、昭和61年から20年以上にわたり学生交流を継続しており、平成23年度までに本学から累計90名の学生を派遣しています。また、平成16年度から春期休暇中に本学学生をニューカッスル大学語学センターに派遣する2週間の短期語学研修を行っており、平成23年度までに累計68名の学生を派遣しています。

当日、Fagan准教授は、国際化推進センターのマスデン講師、スタッフと懇談を行い、両大学の現状及び今後の大学間交流の発展について意見を交わしました。

また、Fagan准教授は、ニューカッスル大学から本学へ留学中の学生とも懇談を行いました。



Seamus Fagan 准教授(中央)

モンタナ留学体験記



文学部
コミュニケーション情報学科
4年 直野 文彦

平成23年8月から平成24年5月まで、アメリカのモンタナ大学に交換留学させていただきました。アメリカ留学とはいえモンタナ州という聞いた事も無い田舎の州。LAやニューヨークなど、皆さんの考えるアメリカの街とは違いエンターテイメントも何もない自然豊かな場所でした。しかし私はこの場所でしか体験できないようなすばらしい経験をすることができたと思います。

留学生活中で最も苦労したことが、授業についていくこと。モンタナ大学の交換留学生は、自分の所属する学部に関係なく授業を取ることが可能です。私も所属に関係なく観光学、映像編集、政治学など、熊大の所属する学科では取れないような授業をいくつも取っていました。しかしながら、授業は当然英語。ついていくと体が難しかったため、予習と復習は夜遅くまで留学仲間と一緒にしていました。それまであまり勉強に身が入っていなかった自分ですが、大学生として初めて勉強したなど実感できた一年間。学ぶことの大変さと面白さを再確認できました。

プライベート面では、週末は地元の方に人気の飲食店によく足を運んでいました。私にとって、その店でのコミュニケーションは何よりの英語の勉強。現地の方が気さくに話しかけてくれました。そこで仲良くなった方と一緒にお酒を飲んだり、英語とジュースチャーを交えながらコミュニケーションをしたりと、毎週新たな出会いと発見がありました。

最後に、今留学を思いとどまっている人たちにお伝えしたいことは、「心配する前に一歩踏み出せ」ということ。金銭面、文化や言葉の違いなど不安に思うことは沢山あると思います。やってみながら何かの壁にぶつかったら、その場でコツコツ解消していけば良いのではないのでしょうか。時間のある大学生のうちに行かないのはもったいない。もし、今留学に少しでも興味があるのであれば、その気持ちを大切にしてチャレンジしてみてください。

留学生からのメッセージ



医学教育部
修士課程2年
大韓民国 鄭 珉境

私は、医学研究者になるという志を持って、韓国から熊本大学に進学しました。入学当時は、不慣れた日本での留学生活や日本語で授業を受けることへの不安がありましたが、熊本大学で学んだ専門知識や研究が土台となり、私の夢に一步近づくと思うだけで頑張れる元気が湧いてきました。

私の所属している研究室では、活性酸素のシグナル伝達を主なテーマとして研究しており、この分野では最先端の研究を行っています。このような恵まれた研究環境のおかげで、学会発表やRS(短期共同研究派遣)などの貴重な経験をすることが出来ました。

研究室の先生や先輩方、また、国際戦略ユニットの方々の助けを受け、研究や日常生活の不安は月日とともに徐々に無くなってきました。私費留学生ということもあり、経済的に厳しい状況でしたが、奨学金も受けることができました。

このような手厚いサポートを受けて楽しく修士課程での研究生生活を送ってきましたが、本荘キャンパスには韓国人は私しかいないこともあり、寂しさを感じることも度々ありました。しかし、今思うとそのような環境は私の日本語能力の上達を早め、日本の生活にも慣れるいい機会になったと思います。もちろん、私は環境に恵まれていたと思いますが、不安なことや厳しいと思っていたことはすべてチャンスであり、目標を持ってふれずに進むことで、そのチャンスをもものにできて感じています。これから留学してくる方々も、不安や厳しいこともたくさんあると思いますが、前向きに考え、努力を怠らなければ必ず良い結果が付いてくるということを伝えたいと思います。私は、今後博士課程に進学してさらに研究を発展させて、立派な研究者になれるように努力していくつもりです。

大学間・部局間交流協定(平成24年7月～12月)締結分

大学間/部局間	大学名	国名	学術/学生
大学間	全北大学校 Chonbuk National University	大韓民国	学術/学生
	釜山大学校 Pusan National University	大韓民国	学術/学生
部局間	理学部 大学院自然科学研究科	ベトナム自然資源環境省地質科学鉱物資源研究所 Vietnam Institute of Geosciences and Mineral Resources (VIGMR), Ministry of Natural Resources and Environment (MONRE)	ベトナム 社会主義共和国 学術
	大学院生命科学部 大学院保健学教育部	サンフランシスコ大学看護大学院 University of San Francisco School of Nursing and Health Professions	アメリカ合衆国 学術
	理学部 工学部 大学院自然科学研究科	ブレーズパサル大学(クレモントフェランド第二) Université Blaise Pascal - Clermont-Ferrand II	フランス共和国 学術/学生
	理学部 工学部 大学院自然科学研究科	ペトロナス工科大学 Universiti Teknologi PETRONAS	マレーシア 学術/学生
	大学院生命科学部 大学院医学教育部	広西医科大学 Guangxi Medical University	中華人民共和国 学術/学生
	生命資源研究・支援センター	スペイン国立研究所 The Spanish National Research Council	スペイン 学術

大学間交流協定: 59件 部局間交流協定: 80件 計139件 29カ国 (平成25年1月1日現在)

